

八幡平市

元気な八幡平市をさんさで全国にPR

八幡平市を広く県内外にPRしようと、市内のさんさ踊り愛好会2団体は8月3日、盛岡さんさ踊りパレードに参加しました。

参加したのは、松尾地区を母体にする「さくらさんさ愛好会」と安代地区を母体にする「安代さんさ踊り愛好会」。さくらは約百人、安代は約80人の総勢180人が、田村正



パレードには、さくらさんさ愛好会と安代さんさ踊り愛好会の2団体・総勢180人が参加し、華麗な演舞を披露しました（写真：さくらさんさ愛好会）



元気な八幡平市をPRした安代さんさ踊り愛好会

彦市長を先頭に練り歩き、力強い太鼓と華麗な舞を披露し、元気な八幡平市をPRしました。

両団体は6月から参加者を募集し、個別練習や全体練習に励んできました。今回参加した大更の田村悦子さんは「初めての挑戦でしたが、うまくできました。とても楽しかったです」と声を弾ませ、さわやかな汗を輝かせました。今年の盛岡さんさ踊りパレードは30回目の記念大会。日本一の太鼓パレードをキヤッチフレーズに、昨年から期間を1日延長し、8月1日から4日まで行われました。

寄木小学校の児童は8月1日、同校付近の商店・プチおのさわの協力で、一日店長を体験しました。

一日店長に任命されたのは、3年生4人と5年生4人の8人。夏休みを利用した職業体験を通して、自由研究や社会勉強に役立てようで行われたものです。児童たちは、商品を並べたり、整理したりしながら、商店について学習。レジ係で接客も学び「いらっしやいませ」と笑顔で対応しました。



お客さんが見やすく取りやすいように商品を並べる児童

小学生店長が笑顔でいらっしやいませ



仮装した地域の人たちも参加し、盛り上がった盆踊り

大石平子ども会の夏まつりは7月28日、大石平公民館で行われ、地域の人たち約百人が参加しました。

夏まつりは、子どもたちが地域の協力を受け、6月10日に廃品回収して得た収益金を元に開催したものです。地域の協力で感謝し、交流を深めようと夏祭りを企画しました。祭りは今年で2回目。盆踊り大会で地域の輪をつくったほか、夜空に72発の花火を打ち上げ大輪の花を咲かせました。

大石平子ども会が真心の大輪を咲かす